



第229号

目 次

関 係 法 令.....	2	学内レクリエーション〈文化部会，称名滝と立山	
学 内 規 則.....	2	道沿いの旧蹟を探勝，教職員文化展，卓	
富山大学公開講座規則の制定.....	2	球大会，麻雀大会〉.....	8
諸 会 議.....	3	昭和57年度全国公務員レクリエーション共同事業	
学 事.....	4	富山地区卓球大会.....	9
学生募集要項.....	4	保健管理センターだより〈酸性・アルカリ性食品〉..	9
人 事 異 動.....	6	中華人民共和国遼寧省幹部職員一行の来学.....	10
学 内 諸 報.....	7	内線9番から.....	10
教育者表彰.....	7	職員サークルの紹介〈写真班，絵画班，盆景班〉..	11
文部省永年勤続表彰.....	7	職 員 消 息.....	12
理学視察委員による実地視察.....	7	主 要 行 事.....	12
海外渡航者.....	7	資 料.....	15
		昭和58年度中に開催予定の主要会議及び大会等行	
		事予定表.....	15

 関 係 法 令

	(官報掲 載月日)		(官報掲 載月日)
告 示		ための課程の認定の取消しに関する件	
○短期大学の名称変更に関する件(文部150)	11・5	(文部153)	11・30
○教員の免許状授与の所要資格を得させる			

 学 内 規 則

富山大学公開講座規則の制定

富山大学公開講座規則を次のとおり制定する。

昭和57年11月12日

富山大学長 柳 田 友 道

富山大学公開講座規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学学則第71条の規定に基づき、富山大学（富山大学経営短期大学部を含む。以下「本学」という。）が開設する公開講座に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 公開講座は、本学の教育・研究を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的とする。

(開 設)

第3条 公開講座は、次に掲げるものとし、第8条第1項に規定する公開講座委員会の議を経て開設する。

- (1)全学的に実施する公開講座
- (2)学部等が実施する公開講座

(時期、時間及び場所)

第4条 公開講座は、本学学生の授業に支障のない時期に実施する。

2 公開講座は、1講座につき15時間以上とする。

3 公開講座は、本学の諸施設を使用する。ただし、必要がある場合は、学外で実施することができる。

(講 師)

第5条 公開講座の講師は、本学の教官とし、学長が委嘱する。ただし、必要がある場合は、学外の学識経験者を講師として委嘱することができる。

(修 了)

第6条 公開講座において、所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(講 習 料)

第7条 公開講座の講習料は、受講申請を受理するときに徴収し、既納の講習料は、返付しない。

2 講習料の額は、1講座当たり15時間までにつき1,500円とし、15時間を超えるものについては、その額に5時間増すごと（5時間未満の端数については、5時間とみなす。）に500円を加算した額とする。

(公開講座委員会)

第8条 本学に、公開講座委員会（以下「委員会」と

いう。)を置く。

- 2 委員会は、第3条第1号に規定する公開講座について、企画・立案し、その実施に当たるほか、同条第2号に規定する公開講座について、連絡調整を図る。

(組織等)

第9条 委員会は、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) 学部及び教養部の教官 各2名
 - (2) 経営短期大学の教官 1名
 - (3) その他学長が必要と認める者
- 2 前項の委員は、当該学部等の長（経営短期大学部にあつては主事）の推薦に基づき学長が命ずる。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第10条 委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を行う。

(庶務)

第11条 公開講座及び委員会に関する庶務は、庶務部庶務課において処理する。ただし、第3条第2号に規定する公開講座については、当該学部等の事務部において処理する。

附 則

- 1 この規則は、昭和57年11月12日から施行する。
- 2 この規則第9条第1項第1号の委員について、初年に選ばれる者のうちの1人の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。
- 3 富山大学公開講座講習料規則（昭和53年9月28日制定）は、廃止する。

▶富山大学公開講座規則の制定理由

従来個別に企画されていた公開講座について、目的等を明確にし、これを全学的に位置付けること及び所要事項の検討等を行う公開講座委員会を設置することにより、公開講座の充実を図るため。

諸 会 議

昭和58年度富山大学入学試験に関する高等学校と大学との懇談会（11月2日）

(懇談会次第)

- (1)昭和58年度富山大学入学試験について
- (2)各学部・学科及び経営短期大学部等の紹介
- (3)懇 談

昭和57年度第10回学寮補導委員会（11月5日）

(報告事項)

- (1)全寮委員との話し合いについて

(審議事項)

- (1)学寮の諸問題について（継続審議）

昭和57年度第4回入学者選抜方法研究委員会専門委員会（11月6日）

(審議事項)

- (1)入学者選抜方法の改善に伴う昭和56年度以降の調査研究事項について

昭和57年度第4回入学者選抜方法研究委員会（11月9日）

(審議事項)

- (1)富山大学入学者選抜健康診断判定基準の改訂について（継続）

昭和57年度第6回入学試験管理委員会（11月9日）

(審議事項)

- (1)昭和58年度富山大学学生募集要項（大学案内付）（案）について（継続）

昭和57年度第4回学園ニュース編集委員会（11月9日）

（審議事項）

(1)第40号学園ニュースの編集について

授業料等減免選考委員会（11月11日）

（審議事項）

(1)昭和57年度後期分授業料免除について
(2)授業料等免除選考基準について

第10回工学部移転促進小委員会（11月11日）

（審議事項）

(1)工学部の移転について

昭和57年度第5回大学院委員会（11月12日）

（審議事項）

(1)昭和58年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）
及び工学研究科（修士課程）第2次学生募集要項
について

昭和57年度第8回評議会（11月12日）

（報告事項）

(1)国大協第3常置委員会について
(2)昭和58年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)
及び工学研究科（修士課程）第2次学生募集要項
について
(3)学生の懲戒解除について
(4)工学部の移転について
(5)学生の動向について

（審議事項）

(1)富山大学公開講座規則の制定(案)について（継続
審議事項）
(2)昭和58年度富山大学学生募集要項及び富山大学案
内について
(3)昭和58年度富山大学文学専攻科及び経済学専攻科
の学生募集要項について

昭和57年度第11回学寮補導委員会（11月19日）

（審議事項）

(1)学寮の諸問題について（継続）

学 事

学 生 募 集 要 項

本学は、昭和58年度の富山大学学生募集要項を次の
とおり発表しました。

昭和58年度 富山大学学生募集要項（抜粋）

1. 募集人員

- 人文学部 170名（人文学科 90名，語学文学科 80名）
- 教育学部 240名（小学校教員養成課程 140名，中学校教員養成課程 50名，養護学校教員養成課程 20名，幼稚園教員養成課程 30名）
- 経済学部 300名（経済学科 120名，経営学科 120名，経営法学科 60名）
- 理学部 180名（数学科 40名，物理学科 40名，化学科 40名，生物学科 30名，地球科学科 30名）
- 工学部 305名（電気工学科 50名，工業化学科

45名，金属工学科 40名，機械工学科 50名，生産機械工学科 40名，化学工学科 40名，電子工学科 40名

(注)1. 経済学部の募集人員(300)には推薦入学による合格予定人員を含む。

2. 人文学部語学文学科の募集人員増について
昭和58年度において、人文学部に語学文学科5名の増募を計画している。この実現は現在のところ未定であるが、もし、増募する場合には、政府予算案決定後、追加募集要項を発表(昭和58年1月下旬頃)する予定であるから、人文学部志願者は特に注意すること。

2. 出願期間

昭和58年2月9日(水)から2月15日(火)まで。(15日消印有効)

受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日は正午までとし、日曜日及び休日は受け付けない。

3. 検査期日

昭和58年3月4日(金)

(教育学部の実技検査は、3月5日(土))

4. 検査場

- 人文学部検査場 教養部(富山市五福)
- 教育学部検査場 教育学部(富山市五福)
- 経済学部検査場 経済学部(富山市五福)
- 理学部検査場 理学部(富山市五福)
- 工学部検査場 工学部(高岡市中川園町)

5. 検査科目

- 人文学部 ……………・現代国語, 古典I乙
・英語B, ドイツ語のうちから1科目選択
- 教育学部 小学校教員養成課程 }
中学校教員養成課程 } ・現代国語, 古典I乙
(社会, 家庭, 技) }
(術, 英語) } ・数学II B
養護学校教員養成課程 }
幼稚園教員養成課程 }
中学校教員養成課程(国語)
・現代国語, 古典I乙
中学校教員養成課程(数学)
・数学II B, 数学III
中学校教員養成課程(理科)
・数学II B
・物理II, 化学II, 生物II, 地学IIのうちから1科目選択
中学校教員養成課程(音楽, 美術, 保健体育)・それぞれの実技検査(音楽は筆答試験を含む)
- 経済学部 ……………・数学II B, 英語B, ドイツ語のうちから1科目選択
- 理学部 数学科…・数学II B, 数学III
物理学科…・数学II B
・物理II
化学科…・数学II B
・化学II
生物学科…・数学II B
・生物II

地球科学科…・数学II B

・物理II, 化学II, 地学IIのうちから1科目選択

- 工学部 電気工学科, 機械工学科, 生産機械工学科, 電子工学科 }
工業化学科, 金属工学科 } ・数学II B
科, 化学工学科 } ・物理II, 化学IIのうちから1科目選択

(注)

1. 教育学部志願者
 - (1) 教育学部志願者で、受験科目の異なる課程又は専攻教科を第2志望とする場合は、第1志望の受験科目のほかに第2志望の受験科目(重複する科目を除く)を受験しなければならない。
2. 工学部志願者
 - (1) 工業化学科, 金属工学科及び化学工学科を第1志望とする者のうち「化学II」で受験する者には、3学科間でのみ第2志望が認められる。
 - (2) 「物理II」で受験する者には、全学科にわたり第2志望が認められる。
6. 志願者カード
 本学所定の用紙により、志願者カードの記入上の注意を参照のうえ必要事項を記入・マークして入学願書とともに提出すること。
7. 配点

学部	共通第1次 学力試験	第2次の 学力検査	合計
人文学部	500点	400点	900点
経済学部	(各教科 100点)	300点	800点
教育学部 理学部 工学部	1,000点 (各教科 200点)	400点	1,400点

備考 第2次の学力検査の各科目ごとの配点は、それぞれ200点(経済学部は300点)である。ただし、国語については、現代国語及び古典I乙併せて200点(教育学部中学校教員養成課程の国語専攻は400点)、実技については、400点である。

8. 合格者発表
 昭和58年3月13日(日)午前9時
 本学(富山市五福)及び工学部(高岡市中川園町)に掲示し、かつ、本人に通知する。
9. 経済学部推薦入学学生募集要項
- (1) 募集人員
 15名以内
- (2) 出願資格及び推薦の要件
 高等学校の専門教育を主とする学科(いわゆる職業科)を昭和58年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当する者
- ア. 人物、学力、健康において優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦できる者
- イ. 高等学校の最終年次における成績が所属学科の上位10%以内の者
- (3) 推薦人員
 1高等学校につき2名以内
- (4) 出願期間
 昭和58年1月5日(水)から1月11日(火)午後5時までに必着のこと。

受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日は正午までとし、日曜日は受け付けない。

- (5) 入学者の選抜方法
 推薦入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、推薦書、調査書、小論文及び面接の結果を総合して判定する。
- ア. 選考期日
 昭和58年1月26日(水)下記により小論文を課し、面接を行う。
 なお、小論文作成のための資料の一部は英文で提示する。

時 間	9:00	9:30~11:10	13:00~
事 項	集 合	小 論 文	面 接

- イ. 選考場所
 富山大学経済学部(富山市五福)
- (6) 合格者発表
 昭和58年3月13日(日)午前9時本学(富山市五福)に一般の受験者と区別なく同時に掲示し、かつ、本人に通知する。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	57. 11. 17	鳥 山 一 郎		技術補佐員 (富山大学経理部主計課)	富山大学長
	"	藤 田 政 志		(" ")	"
	"	宮 嶋 恒 行		(" ")	"
昇 任	57. 12. 1	辰 己 昭 典	講 師 (教育学部)	助教授 (教育学部)	文 部 大 臣
	"	遠 藤 幸 一	" (")	" (")	"
併 任	"	秋 元 國 男	附属図書館受入係長	附属図書館整理係長 (58.3.31まで)	富山大学長
休 職	"	塩 谷 孝 雄	" 整理係長	国家公務員法第79条第1号 により休職(58.3.31まで)	"
辞 職	57. 11. 30	上 野 正 子	事務補佐員 (工学部)	辞職を承認	"
退 職	57. 11. 4	松 木 直	教諭(教育学部附属中学校)	昭和57年11月3日限り任期満了により退職	"

学 内 諸 報

教 育 者 表 彰

学校教育の振興に関し特に功績顕著な教育者に対し、その功績をたたえる昭和57年度教育者表彰の被表彰者が文部省において決定され、本学教育学部附属中学校の中山宇之副校長が国立学校6人を含む全国で151名の被表彰者とともに、下記により文部大臣から表彰

されました。

記

1. 日 時 昭和57年11月19日(金) 正午から
2. 場 所 東京都千代田区隼町4の1 国立劇場小劇場
3. 拝謁及び皇居参観 同日午後2時15分から

文部省永年勤続表彰

昭和57年度文部省永年勤続者として、本学から次の方々が表彰されました。

勤続20年 教育学部事務長 成瀬 正夫
 " 教養部事務長 野村 信生

理学視察委員による実地視察

去る11月16日(火)理学視察委員による本学の理学部及び理学研究科の実地視察が行われました。

これは、文部省が大学教育の改善充実のため、学部、研究科等の教育研究組織、教員組織、教育課程及び施設、設備等に関し、専門的な立場からの指導、助言に当たるものとして視学委員の制度を設け、実地視察を

行っているものであります。

視 察 委 員 平田 義正 (名城大学教授)
 " 吉 沢 尚明 (京都大学教授)
 文部省担当官 西岡 正徳
 " 甲 野 正道

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	官 職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理学部	助手	竹内 章	公海上 (南部太平洋域)	南太平洋の新第三紀古海洋学的研究のため (国際深海掘削事業第90次航海)	57. 12. 1 } 58. 1. 16
海外研修旅行	経済学部	助教授	武井 勲	アメリカ合衆国	BOMAウインターミーティング出席のため	57. 11. 30 } 57. 12. 12
	工学部	教授	加川 幸雄	インド, タイ	音響振動工学に関する研究及び討論並びに第5回機械学全コンファレンスで研究発表を行うため	57. 11. 30 } 58. 1. 22

学内レクリエーション

◇文化部会

○称名滝と立山道沿いの旧蹟を探勝

実施月日 10月23日(土)

見学先 中新川郡立山町 称名滝

富山市西の番 慈眼山正源寺

見学記

うららかな秋晴れの10月23日土曜日午後、文化部会は恒例の半日旅行を催した。

今年は、富山県が誇る落差350メートルの称名滝の景観と附近一帯の紅葉を探勝し、さらに、帰途、常願寺川氾濫防止祈願のため建立した正源寺を訪れ、本堂天井に描かれた「鳴き竜」に手をたたくなどして、参加者48名は日足の短くなった秋の午後を楽しんだ。なお、当初予定していた浮田家の見学は、時間の関係上、割愛し、今後の計画に待つこととした。

○教職員文化展

富山大学レクリエーション委員会 } 共催
文部省共済組合富山大学支部 }

開催月日 11月10日(水)～12日(金)

場 所 学生会館

展示作品 華道班19点、手芸班22点、書道班
10点、絵画班13点、写真班20点、
盆景班5点



(学生会館2階集会室)

◇卓球大会

本学レクリエーション委員会体育部会卓球班主催による昭和57年度富山大学教職員卓球大会が、去る11月20日(土)午後1時から約50名の参加者を得て第2体育館で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

(団体戦) …参加6チーム

優勝 工学部Aチーム
次勝 経済・図書・短大チーム
3位 工学部Bチーム

(個人戦)

男子……参加者21名

1位 吉川 和男 (工学部)
2位 大聖寺 一孝 (〃)
3位 新井 浩 (教養部)
4位 柴田 幹 (工学部)
5位 川辺 誠 (教育学部)
6位 武田 知己郎 (施設課)

女子……参加者6名

1位 作道 勢以子 (工学部)
2位 塚原 美幸 ((附属図書館))
3位 大山口 由利 (教育学部)

◇麻雀大会

本学レクリエーション委員会娯楽部会麻雀班主催による昭和57年度学内教職員麻雀大会が、去る11月27日(土)午後1時から19チーム76名の参加者を得て本学職員会館で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

(1)試合方法 東北半荘4回戦(半荘45分打切)

(2)入 賞

(団体戦)

優勝 教育学部A (山岸, 吉沢, 友坂, 藤井)
+ 197・2
次勝 人文・理C (伊野, 羽広, 中三川, 岩城)
+ 180・2
3位 工学部 (高松, 泉, 渡辺秀, 大聖寺)
+ 143・5

(個人戦)

優勝 伊野不二夫 (人文・理C) + 166・2
次勝 吉沢 誠 (教育学部A) + 139・2
3位 泉 三郎 (工学部) + 115・3
名人賞 雁田 彰 (庶務部D) + 2・7



昭和57年度全国公務員レクリエーション共同事業富山地区卓球大会

昭和57年度国家公務員レクリエーション共同事業富山地区卓球大会が、去る11月30日(火)不二越体育館において富山地方検察庁の当番で開催されました。

競技は午前9時30分から始まり、本学からは2チームが参加しリーグ戦をそれぞれ勝ち進みましたが、トーナメント戦ではBチームは富山営林署に優勝戦で惜

しくも敗れ次勝となり、また、Aチームは準々決勝で富山地方法務局に惜しくも敗れ去りました。

なお、成績は次のとおりです。

- 優 勝 富山営林署チーム
- 次 勝 富山大学Bチーム
- 3 位 富山地方法務局チーム

保健管理センターだより

〈酸性・アルカリ性食品〉

保健管理センター栄養士 山本 郁子

食品の酸性、アルカリ性の区別は、食品が体内に入った場合、酸化されて完全利用された残りの廃物中に、酸性、アルカリ性のどちらの性質を生ずるかということによって決定します。リン、塩素、イオウを多く含むも

のを酸性といい、食品では穀類、肉類がそうです。ナトリウム、カルシウム、マグネシウムを多く含むものをアルカリ性といい、食品では野菜、果物、牛乳などです。

酸性食品とアルカリ性食品

酸 性 食 品			ア ル カ リ 性 食 品		
食 品	食 品	食 品	食 品	食 品	食 品
穀 類	し ょ う ゆ	馬 肉	豆 類	み つ ば	か き
ぬ か	魚 類 ・ 貝 類	豚 肉	い ん げ ん 豆	じゃがいも	な し
ふ す ま	カツオブシ	牛 肉	大 豆	ご ぼ う	ぶ どう 汁
オートミール	タイのシラコ	とり肉スープ	あ ず き	キャベツ	す い か
玄 米	ス ル メ	乳汁・鶏卵	さやえんどう	大 根	つけ物類
ひき割り麦	ニ ボ シ	卵 黄	と う ふ	か ぼ ち ゃ	たくあんつけ
そば粉	マ グ ロ	チ ー ズ	乳汁・鶏卵	た け の こ	菜 づ け
白 米	タ コ	野 菜 類	卵 白	さ つ ま い も	き の こ 類
大 麦	コ イ	く わ い	人 乳	か ぶ	しいたけ
小 麦 粉	タ イ	アスパラガス	牛 乳	や ま と い も	まつたけ
ふ ぱ ン	カ キ	海 草 類	野 菜	れ ん こ ん	し め じ
油 脂	生 ザ ケ	の り (乾 燥)	こ ん に や く 粉	き ゆ う り	海 草 類
バ タ ー	ウ ナ ギ	し 好 品	紅しょうが	な す	わ か め
豆 類	ハ マ グ リ	酒 か す	ほうれん草	玉 ね ぎ	こ ぶ
ら っ か せ い	貝 柱	ビ ー ル	つまみ菜	ぜんまい	し 好 品
そ ら 豆	カ ズ ノ コ	清 酒	さ と い も	果 物 類	ぶ どう 酒
え ん ど う	ド ジ ョ ウ	麦 湯	ち さ	バ ナ ナ	コ ー ヒ ー
油 揚 げ	ア ワ ビ	(2g・水1ℓ)	に ん じ ん	く り	(5g・水1ℓ)
生 揚 げ	エ ビ		こ ま つ 菜	い ち ご	茶
み そ	肉 類		京 菜	み か ん 汁	(5g・水1ℓ)
	と り 肉		ゆ り	り ん ご	

(西崎弘太郎博士の測定したものより抜粋)

一般にレモンや酢のように、すっぱいものは酸性だと誤解されがちですが、食品の味とは無関係であり、血液も、食物によって簡単に酸性になったりアルカリ性になったりするものではありません。

最近では肉、魚、卵などの動物性食品の摂取量がふえてきましたが、これらはみな、酸性食品になります。また、外食などで簡単に食事をすませようとする、そばやラーメン、スパゲティ、チャーハンなどが多くなり、これらも酸性食品で特に自動販売機で売っているものは、ほとんど酸性食品です。このようなものばかり食べていると、栄養のバランスは崩れ、ビタミン、ミネラルが不足し、血液が酸性になって体に悪い、などとよく言われます。これは、人間の血液が常に弱アルカリ性になっている状態が望ましいからです。主食である米や麦などの穀類、それに肉類は酸性食品なの

で血液の酸性を中和するために野菜、果物、海藻などのアルカリ性食品を忘れずにとりましょう。アルカリ性食品を多く摂るということは、結果として、このアンバランスを是正するのに役立ち、ビタミンやミネラルが多く含まれ、肥満防止、動脈硬化予防、高血圧予防、カルシウムの補給となります。けれども、アルカリ性食品だけを食べていたのでは栄養失調になってしまいます。酸性食品も、アルカリ性食品も両方をバランスよくというのが正しい食事のとり方です。牛乳や卵は毎日欠かさずにとるようにして、肉や魚には野菜料理をたっぷり添えたり、豆腐料理やいも料理などもいろいろと組み合わせるなどの工夫が大切かと思えます。

▶次号の保健管理センターだよりは、浅井所長による「血管障害」を掲載します。

中華人民共和国遼寧省幹部職員一行の来学

去る11月2日(火)午後4時30分、中華人民共和国遼寧省外事弁公室副主任 孟 涵 氏外2名が学長表敬のため富山県総務課長の案内で来学されました。

一行は、学長室において、学長から本学の概要説明

を聞いた後、本学と遼寧大学との学術交流が行われることは、日中両国の教育の発展にとっても有意義であると意見の交換を行い、午後5時30分に本学を後にされました。

内 線 9 番 か ら

片言交じりの幼児から老人に至るまで、電話の厄介にならない日はない位に、“モシモシ”は生活の上ではもう空気のような存在となっています。それゆえかどうか電話番号の呼び方も様々で、それぞれ自由に好きなように呼んでいます。最近では特にその傾向が強いようで、電話交換嬢を悩ましています。

聞きとりにくいことと分かりにくいことがあり、一番困るのは間違っ聞きとれることで、接続の誤りは極めて厄介で取返しがつきません。列車でいいますと脱線と同じことになります。

例えば、1を「ヒト」、2を「フタ」これなら分かりますが、4を「シ」、7を「シチ」、9を「ク」等と呼びますと聞き違いやすく0にいたっては「ゼロ」、「レイ」でなく「マル」と当然のように呼んでいる人がいます。特にテレビ等で「スタジオ102（イチマルニ）」、「600（ロクマルマル）こちら情報部」等と盛んに0を「マル」と発音しています。視聴者にとって「マル」は非常に

耳に心地よく、なじみやすい呼称です。しかし、これは電話番号の呼称とは関係ありません。

では、なぜ「マル」がいけないかと言いますと、「マル」はどうしても7「ナナ」に聞こえてくるので三度に一度は間違っ接続することがあり、交換嬢の悩みの種となっています。

ところが美しい日本語で、しかもアクセント、イントネーションの見事な本学の外国人教師の一人は、市外通話を申し込むとき、朝であればまず「お早うございます」から始まって「〇〇局〇〇〇番」と間違っても「マル」とは言わず実に正しい電話番号の呼称で申し込まれます。「〇〇局」という発音は、交換嬢も教えられることが大です。こんなときは、素早く接続してあげることになります。

なお、電話番号の基本的な呼称を参考までに列記しますからハッキリと正しく申し込んでください。内線9番からのお願いです。

電話番号の基本的な呼称

- 1(イチ), 2(ニイ), 3(サン), 4(ヨン), 5(ゴ),
 6(ロク), 7(ナナ), 8(ハチ), 9(キュウ), 0(レイ又はゼロ)
 1111(イッセン ヒャク ジュウ イチ)
 2222(フタセン フタヒャク ニジュウ ニ)
 1000(イッセン バン)
 2000(フタセンバン)



(電話交換室)

職員サークルの紹介

○写 真 班

当写真班の主たる活動は、毎年11月に開催される富山大学レクリエーション委員会及び文部省共済組合富山大学支部共催による教職員文化展であり、その文化展には多数の方がすばらしい作品を出品しています。

写真は、だれでも撮れるものであり、また、記念として心に残るものです。アルバムを開き、思い出に浸ってはいかがですか？

今後の活動として、年1～2回程度の撮影会を予定していますので、みなさんも奮って入会してください。

●連絡先 人文・理学部 松永良成(内線284)

○絵 画 班

あわただしい時間をさいて時には絵筆をとる、ふと目に止った花、かねて描きたい風景など、何にも拘束されずただ描くことのみに没頭する。絵具を盛り上げてみたり、ぬり潰してみたり、何とか自分なりに描き出すひとときこそ何ものにもかえがたいほのかな喜びを感じる。

古くは文理学部がまだ蓮町にあったころ、近くにお住いの彫刻家の小柳津三郎先生を講師に「かぐつち会」と称し(迦具土とは火の神の古名です)週一回集まり、御指導を仰ぎました。

その後、“各部”が誕生し活発な班活動が再び始まりましたが、年を重ねるにつれ、各自の事情も異り時間的な制約もありますので、飽くまでも自由に又折りにふれ絵画旅行を楽しむグループもある今日このごろです。

今までの描きながらの「まとめ」をしてみますと、

すべてに共通することと思いますが、より良く深く、幅広く「もの」を見る眼が、考えが、培われてきているように思われます。

みなさん、気軽にキャンバスにすてきな絵を描いてみませんか。御連絡をお待ちしております。

●連絡先 附属図書館 関場貞子(内線631)

○盆 景 班

先月行われました教職員文化展で御覧になった方はお分かりかもしれませんが、盆景といっても一般にはなじみが薄いかと思しますので、少し説明をして盆景班紹介に代えたいと思います。

盆景にもいろいろありますが、私達盆景班が練習しているものは、黒いお盆の上に白い砂をまいて風景を描くものです。荒い砂や細かい砂を匙でまいたり、羽で形を整えたりします。中には、ごく小さな貝がらをちりばめたり、陶製の橋や家などを利用したりすることもあります。基本はあくまで、黒のお盆と白い砂です。黒と白だけで構成される風景は、墨絵とは異なり、立体感を伴い、また違った趣きがあります。

手本を見ながら、月一度講師の指導を受け、砂のまき方や羽根の使い方などを習っています。もちろん、基本をマスターして、旅先でのスケッチなどを元にオリジナルを手がける方もあります。

興味のある方、御一緒に練習なさいませんか。御連絡ください。

●連絡先 経済学部 小嶋保子(内線565)

職 員 消 息

〈改 姓〉

文部事務官 下田 誠一

教育学部

附属養護 五百崎千鳥 旧姓 稲垣
学校教諭

〈住所変更〉

教養部

教育学部

助 教 授 高安 和子

教 授 大塚 恵一

附属養護 五百崎千鳥
学校教諭

〈住所表示変更〉

教育学部

附属養護 藤嶋 桂子
学校教諭

工 学 部

助 手 伊藤 紀男

- ◎暖房器具を使用する時期となり、火気の取り扱いに十分注意しましょう!!
- ◎各室の最後の退室者は、ストーブの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末を確認しましょう!!
- ◎電気、ガス、水の節約に努力しましょう!!

主 要 行 事

本 部

11月1日 事務用電算機披露

2日 中国遼寧省幹部職員来学
昭和58年度富山大学入学試験に関する高等
学校と大学との懇談会

5日 第10回学寮補導委員会

6日 富山大学入学者選抜方法研究委員会専門委
員会
学生健康保険組合理事会

9日 第4回入学者選抜方法研究委員会
第6回入学試験管理委員会
第4回学園ニュース編集委員会

9～10日 共済組合事務担当者研修会（於地方職員共
済組合宇奈月保養所 “黒部荘”）

11日 第10回工学部移転促進小委員会
国有財産等の実地監査
授業料等減免選考委員会

12日 第5回大学院委員会
第8回評議会

13日 学内釣大会（於富山新港）

- 11月16日 理学関係視学委員視察
17日 北陸地区大学学生部懇話会（於仁愛女子短期大学）
奨学金返還に関する説明会
17～18日 第71回国大協総会（於学士会館）
19日 第38回国大協事務連絡会（於学士会館）
第11回学寮補導委員会
20日 学内卓球大会
富山共済組合支部連絡協議会ボーリング大会（於トヤマゴールデンボウル）
20～22日 昭和57年度体育系サークルリーダー研修会（於山野スポーツセンター）
24日 文部省永年勤続表彰状伝達
循環器及び胃の検診
25日 部課長会議
25～26日 昭和57年度東海・北陸・近畿地区国立学校
広報・文書研究協議会（於京都堀川会館）
昭和58年度大学入学者選抜共通第1次学力
試験実施担当者会議（於東京医科歯科大学）
26日 第34回構内交通対策委員会
27日 学内麻雀大会
29日 第39回国有財産北陸地方審議会（於金沢第
2合同庁舎）
30日 事務改善委員会組織・機構部会（第2回）
昭和57年度全国公務員レクリエーション共
同事業富山地区卓球大会（於不二越体育館）
第63回東海・北陸地区国立大学学生部課長
会議（於豊橋技術科学大学）

人文学部

- 11月10日 教授会検討委員会
12日 職業補導委員会
17日 教授会
人事教授会
24日 紀要委員会
入試検討委員会
予算委員会

教育学部

- 11月4日 入試方法研究委員会
国立大学教育学部長会議（於竹橋会館）
5日 日本教育大学協会第一部会（於竹橋会館）
10日 学部教務委員会
17日 職業補導委員会
人事教授会
22日 入試方法研究委員会
24日 教授会
27日 日本教育大学協会第二部会美術部門全国協
議会（於岐阜市）

経済学部

- 11月4日 学部教務委員会
10日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
17日 拡大教務委員会
24日 学部教務委員会
教授会
29日 各種委員選考委員会

理学部

- 11月1日 学部補導委員会
10日 教授会
理学研究科委員会
人事教授会
16日 理学視学委員による実地視察（理学部及び
大学院理学研究科）
17日 人事教授会
24日 昭和60年度学力検査実施教科・科目に関す
る会議
教授会
人事教授会

工 学 部

- 11月1日 学部補導委員会
- 10日 教授会
- 工学研究科委員会
- 17日 共通機器運営委員会
- 19日 工場運営委員会
- 事務連絡会議
- 25日 消火訓練

附属図書館

- 11月10日 北陸地区国立大学附属図書館事務担当者協議会（於金沢大学）
- 10～11日 国立大学図書館協議会理事会（於仙台勾当台会館）
- 16～17日 第33回北信越地区国立大学図書館協議会（於富山大学附属図書館）
- 19日 県内大学・高専図書館研究集会（於富山大学附属図書館）
- 26日 消火器取扱実地訓練実施
- 29日 係長事務打合せ会

教 養 部

- 11月4日 教務委員会
- 6日 紀要委員会
- 10日 教員選考に関する内規暫定措置検討委員会
- 子算委員会
- 17日 教授会
- 人事教授会
- 公開講座終了式
- 25日 教務委員会

保健管理センター

- 11月24日 スキー講習会参加者健康診断
- 29～30日 特別健康診断

経営短期大学部

- 11月10日 第3回奨学生選考委員会
- 12日 第2回授業料等減免選考委員会
- 25日 第14回教授会
- 第2回入学者選抜学力試験委員会

◇訂正(おわび)

学報 昭和57年11月1日発行 第228号

ページ	訂正箇所	誤	正
2	学内規則の富山大学教育学部規則の一部改正の項目中本文	別VII及び別表VIIIを次のように改める。	別表VII及び別表VIIIを次のように改める。
5	学内諸報の職員サークルの紹介の見出し	職員 <u>の</u> サークル紹介	職員サークル <u>の</u> 紹介
6	学内諸報の職員サークルの紹介ソフトボール班の項目。上から9行目	……ソフト <u>ド</u> ール大会……	……ソフト <u>ボ</u> ール大会……
7	学内諸報の工学部の五福移転統合問題に関する経過の見出し	工学部の五福移転統合問題に関する経過 <u>~~~~~</u>	工学部の五福移転統合問題に関する経過 <u>(その1)</u>
13	学内諸報の中華人民共和国遼寧大学からの寄贈図書 <small>の</small> 項目。上から17行目	……から <u>大</u> 学学長に……	……から <u>本</u> 学学長に……
17	主要行事の経済学部 <small>の</small> 項目中15日の欄	後学期授 <u>期</u> 開始	後学期授 <u>業</u> 開始
〃	主要行事の工学部 <small>の</small> 項目中8日の欄	<u>18</u> 月8日	<u>10</u> 月8日

資 料

昭和58年度中に開催予定の主要会議及び大会等行事予定表

昭和57年11月24日現在

期 間	月 日	会 議 名 称	主 催	会 場	参加 範 围	参加予定人員		計	備考
						県内	県外		
5	14 ┆ 15	日本教科教育学会	日本教科教育 学 会	富山大学教育 学 部	全 国	100	200	300	
5	17 ┆ 18	教育研究発表会	富山大学教育 部 附 属 小 学 校	富山大学教育 部 附 属 小 学 校	県内・外の小 学 校 教 員	1,000	300	1,300	
5	28 ┆ 29	日本アフリカ学会学術大会 (第20回)	日本アフリカ 学 会	(予定) 富 山 第 一 ホ テ ル	日本アフリカ 学 会 員	25	150	175	
6	4 ┆ 5	日本雑草学会 第22回大会	日本雑草学会	富 山 大 学	全 国	10	190	200	
6		教育研究協議会	富山大学教育 部 附 属 中 学 校	富山大学教育 部 附 属 中 学 校	県内・外の中 学 校 教 員	400	50	450	
6	24	研究発表会	富山大学教育 部 附 属 養 護 学 校	富山大学教育 部 附 属 養 護 学 校	全国附属養護 学 校 ・ 県 下 特 殊 教 育 関 係 者	100	20	120	
7		精機学会	精 機 学 会	富 山 市 内	北陸信越地区	50	30	80	
7	27 ┆ 29	第21回全国大学保健管理研究 集会・東海北陸地方研究集会	富 山 大 学	呉羽ハイッ	東海・北陸地 区国公立大 学・短期大学	20	80	100	
8		国立夜間短期大学事務長会議	富山大学経営 短 期 大 学 部	富 山 大 学 第 1 会 場 五 箇 山	国立夜間短大 事 務 長 当 番 校	5	18	23	
9又 は10		昭和58年度北陸地区国立大学 係長研修	富 山 大 学	金沢大学辰口 共 同 研 修 セ ン タ ー	北陸五大学の 係長のうち当 該大学から推 薦された者	5	30	35	
9 ┆ 10		第18回東海・北陸地区国立大 学事務局長会議	富 山 大 学	富 山 大 学	東 海 ・ 北 陸 地 区	2	11	13	
10		日本教育大学協会北陸地区第 一部会・第二部会合同会議	日本教育大学 協 会 北 陸 地 区 会	富山大学教育 学 部	北信越国立大 学教育学部教 官	2	13	15	
10	中 旬	北陸地区国立学校施設担当者 連絡協議会		富 山 大 学	福井県・石川 県の国立学校 施設担当者	17	20	37	
10	中 旬	第7回国立大学46工学系学部 長会議	富 山 大 学 工 学 部	富 山 市 内	全国46工学系 学 部 長	10	45	55	

期 間		会 議 名 称	主 催	会 場	参 加 範 囲	参加予定人員		計	備考
月	日					県内	県外		
10	11	国語学会	国 語 学 会	富 山 大 学 及びその周辺	会員及び一般	約 30	約 370	400	
12	初 旬	応用物理学会北陸支部講演会	応用物理学会 北 陸 支 部	富 山 大 学	北 陸 三 県	200	300	500	
12		日本金属学会・ 北陸信越支部 } 日本鉄鋼協会・ 北陸支部 } 連合講演会	日本金属学会・ 北陸信越支部, 日本鉄鋼協会・ 北陸支部	未 定	北 陸 ・ 信 越	80	120	200	
10		昭和58年度東海・北陸地区国 立学校等安全管理協議会	文 部 省・ 富 山 大 学	富 山 大 学	安全管理者又は 安全管理担当者	10	40	50	

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画
富山市曙町9-1
電話(33)3356(代)